

<霊的備え>

神よ 私をあわれんでください。あなたの恵みにしたがって。

私の背きをぬぐい去ってください。あなたの豊かなあわれみによって。

私の咎を 私からすっかり洗い去り 私の罪から 私をきよめてください。(詩篇 51:1-2)

<理解の手引き>

主はソドムを滅ぼされることを決定しました。ソドムには 10 人の正しい者もいなかったからです。しかし、主はロトとその家族を救おうとされました。

ところが、主のさばきを聞いた婿たちは、それを信じようとしませんでした。恐らく、彼らは目の前の幸福を追求し、自分の欲望を満たすことに心を奪われており、神のさばきを冗談のようにしか考えていなかったのでしょう。

日頃から、神のみことばを信じ、それに従う訓練のできていない者は、いざという時にも神のみことばが信じられないのです。ロトの信仰もまた中途半端でした。御使いの再三の促がしにもかかわらず、ロトはソドムの町を出て行くことをためらったのです。それは今まで彼の築いた財産に未練があったからです。ロトの姿の中に、神にも仕え、富にも仕えようとする中途半端な信仰者の姿を見ることができます。

<考えてみよう>

(観察) 主のさばきの宣告に対して、ロトや身内の者たちはどのような態度を取りましたか？

---

---

---

(解釈) 何故、彼らは、素直に主のみことばが信じられず、従えなかったのでしょうか？

---

---

---

(適用) この箇所から、信仰や神について (16, 21 節) 何を学ぶことができますか？

---

---

---

<心に残ったみことばや気づき>

---

---

---

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

---

---

---